

## 第30回夏季大学「新しい気象学」開講のお知らせ

### —長期予報と地球規模の気象—

教育と普及委員会

主催：日本気象学会

後援：気象庁，日本地学教育学会，(財)日本気象協会

●この講座は最新の気象学の普及を目指して，毎年開催しています。小・中・高校の理科担当の先生方の他に，気象学に興味をお持ちの学生や一般の方を対象にカリキュラムを組んでいます。

今回は「長期予報と地球規模の気象」と題して開催します。1か月以上の長期にわたる気候は大気の本質的性質により予測が非常に困難であるといわれています。しかし，近年の調査研究により少しずつ手がかりが得られています。講義ではこれまでに得られた知見，最新の長期予報の手法などについて解説します。

受講料：一般5,500円，教員5,000円，気象学会員・日本地学教育学会員・学生4,500円(消費税含む)

日時：平成8年7月31日(水)9時(受付開始)  
8月2日(金)15時まで  
ただし，8月2日「防災気象情報の読み方」(実習)は希望者のみの参加とします。

会場：東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学本郷キャンパス内  
東京大学山上会館  
(次ページの地図を参照して下さい)

●往復はがきの返信に以下の必要事項を，復信には宛先を記入してお申し込みください。受付次第，返信をお送りします。

1. 「夏季大学参加希望」
2. 住所・氏名
3. 職業 (該当する方は「気象学会員」または「地学教育学会員」の別を，あわせて記入願います)
4. 連絡先電話番号
5. テキストの送付先  
(住所と同じ場合は省略して構いません)

申込先：〒100 東京都千代田区大手町1-3-4  
気象庁内 日本気象学会事務局

申込締切：平成8年7月10日(水)必着

ただし，定員(約100名)に達しましたら締め切らせて頂きます。

支払方法：返信受け取り後，郵便振替によりお支払いください。テキストをお送りします。なお，口座番号等は返信によりお知らせいたします。

その他：一日目の講義終了後に受講者と講師の懇親会を開く予定です。

●テキストのみ希望される方は，はがきに必要部数を書いてお申し込み下さい。テキストと振替用紙をお送りします。代金は1部1,000円送料240円です。刊行部数が少ないので早めにお申し込み下さい。

●会場への交通

地下鉄丸の内線

本郷三丁目駅下車徒歩10分

地下鉄南北線

東大前駅下車徒歩10分

地下鉄千代田線

湯島駅または根津駅下車いずれも徒歩10分

都バス東大構内行き

上野浅草口，お茶の水聖橋口：東大病院前下車

都バス荒川土手行き

東京駅丸の内北口：東大正門前下車

都バス駒込駅行き

東京駅八重洲口：東大正門前下車

車

車両入構規制を行っていますので車での来館はご遠慮下さい。もし車で来られる場合は，次ページ下図矢印のとおりに進んでください。これ以外の道は車止めがあります。赤門，正門からは入構できません。

●お問い合わせ先

気象庁内 日本気象学会事務局

Tel. 03-3212-8341 (内線2546)

Fax. 03-3216-4401

第30回夏季大学「新しい気象学」—長期予報と地球規模の気象— 講義時間表

	10:15~11:45	13:15~14:45	15:00~16:30
7月31日 (水)	ブロッキング —中高緯度の長周期変動— 木本昌秀 (東京大学気候システム研究センター) 地球規模の大気の流れはどのように になっているか? ジェット 気流の蛇行—ブロッキング現象 とは何か? 実例をまじえなが ら解説する。	ENSO —エルニーニョと南方振動— 北村佳照 (気象研究所海洋研究部) ENSO の理解はどこまで進ん だのか, 観測システム, モデリ ング, 予測の現状をまじえて解 説する。	熱帯の長周期変動と モンスーン変動 中澤哲夫 (気象研究所台風研究部) 身近な日本の梅雨や夏の天候と 熱帯の長周期変動についてホッ トな話題とともに解説する。
8月1日 (木)	極域雪氷圏と気候 小野延雄 (国立極地研究所) 地球気候の形成に南北両極域の 氷床や海水が冷源として果たし ている役割を概説し, 極域雪氷 圏と気候との関わりについて解 説する。	気候予報とその将来展望 時岡達志 (気象庁長期予報課) 1か月以上の季節予報や, さら に長い期間も対象とする気候予 報がなぜ可能なのか, その根拠 を紹介し将来を展望する。	1か月予報の技術 (アンサンブル予報) 高野清治 (気象庁長期予報課) アンサンブル予報 (わずかに初 期値が異なる複数の数値予報結 果を利用するもの) を使った1 か月予報技術を解説する。
8月2日 (金)	防災気象情報の読み方 (実習) —基礎解説編— 村中明 (気象庁予報課) 大雨や大雪などの顕著な天気現 象と災害の関わりを解説すると ともに, 防災気象情報の要点に ついて解説する。	防災気象情報の読み方 (実習) —実用編— 村中明 (気象庁予報課) 気象災害を防ぐために「気象情 報をどのように利用するか」そ の正しい利用法について実習す る。	

東京大学山上会館案内図

